

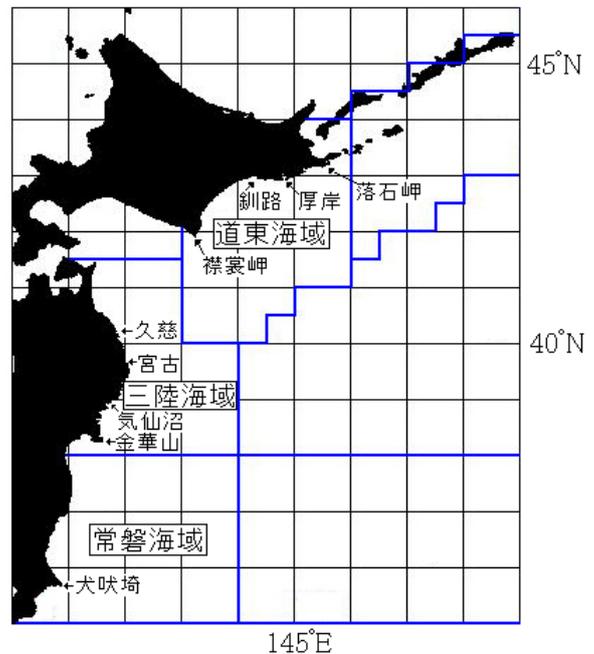
## 2024年度 第3回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2024年10月上旬～11月中旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、10月上旬は断続的な来遊がある。
- ・三陸海域では、10月下旬になると断続的な来遊があるが、来遊量は極めて少ない。
- ・常磐海域では、11月中旬になると断続的な来遊があるが、来遊量は極めて少ない。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部  
担当：渡邊、源  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

# 2024年度 第3回サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2024年10月上旬から11月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

道東海域では、9月中旬に実施した調査船による調査で、少ないながらもサンマが確認できたものの、漁場は形成されなかった。9月中旬の主漁場は道東海域よりもかなり沖合の公海であった。10月上旬は、道東海域に魚群が来遊するが、来遊量は前年並みで少なく、来遊は断続的である。10月中旬～11月中旬の来遊量は、低位水準である。多くの魚群は道東海域よりも東～南側を南下し、道東近海に来遊する群は極めて少ない。

#### (2) 漁場

10月上旬の主漁場は道東海域より東側の公海となる。道東海域では、10月上旬～中旬に、落石沖の沿岸から離れた沖合を中心に散発的に漁場が形成される。また10月下旬～11月中旬は、落石沖と襟裳岬沖に漁場が形成される。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

10月上旬～中旬は、来遊は無い。10月下旬～11月中旬は、断続的な来遊があるが、来遊量は少ない。

#### (2) 漁場

10月下旬～11月中旬は、三陸南部沖合に散発的に漁場が形成される。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

10月上旬～11月上旬は、来遊は無い。11月中旬は、断続的な来遊があるが、来遊量は少ない。

#### (2) 漁場

11月中旬は、常磐北部沖合に散発的に漁場が形成される。

## 2. 予測の概要

海 域		10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬
道東海域	来遊量	— →	————→	————→	————→	————→
	動向	断続的	低位水準	低位水準	低位水準	低位水準
	漁 場	落石沖	落石沖	落石沖 襟裳岬沖	落石沖 襟裳岬沖	落石沖 襟裳岬沖
三陸海域	来遊量			— →	— →	— →
	動向			断続的	断続的	断続的
	漁 場			三陸南部沖	三陸南部沖	三陸南部沖
常磐海域	来遊量					— →
	動向					断続的
	漁 場					常磐北部

### 3. 漁況の経過概要 (9月中旬)

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、道東海域より東側の公海であった。1日1隻あたり最高で78トン程度漁獲した船もあったが、平均14.3トンであった。CPUE(1網あたりの漁獲量)は、9月上旬並みで、前年並みであった。これらことから、魚群は道東海域よりもさらに沖合に分布しており、分布量は前年並みに少なかった。

##### (2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域東側の公海、落石東250~260海里、落石東350~410海里、落石東430~450海里、落石東490~520海里、落石東北東520~600海里であった。

落石東250~260海里的漁場水温18℃では、9月18日夜に大型船数隻操業し、大型船で最高6トン、平均6トン漁獲した。

落石東350~410海里的漁場水温13~14℃では、9月14日夜にかけて大型船数隻~15隻程度と小型船数隻操業し、大型船で最高20トン、平均4.3トン漁獲した。

落石東430~450海里的漁場水温17~18℃では、大型船数隻と小型船数隻操業し、大型船で最高6トン、平均3.4トン漁獲した。

落石東490~520海里的漁場水温17~18℃では、大型船10~20隻程度と小型船数隻操業し、大型船で最高25トン、平均7.1トン漁獲した。

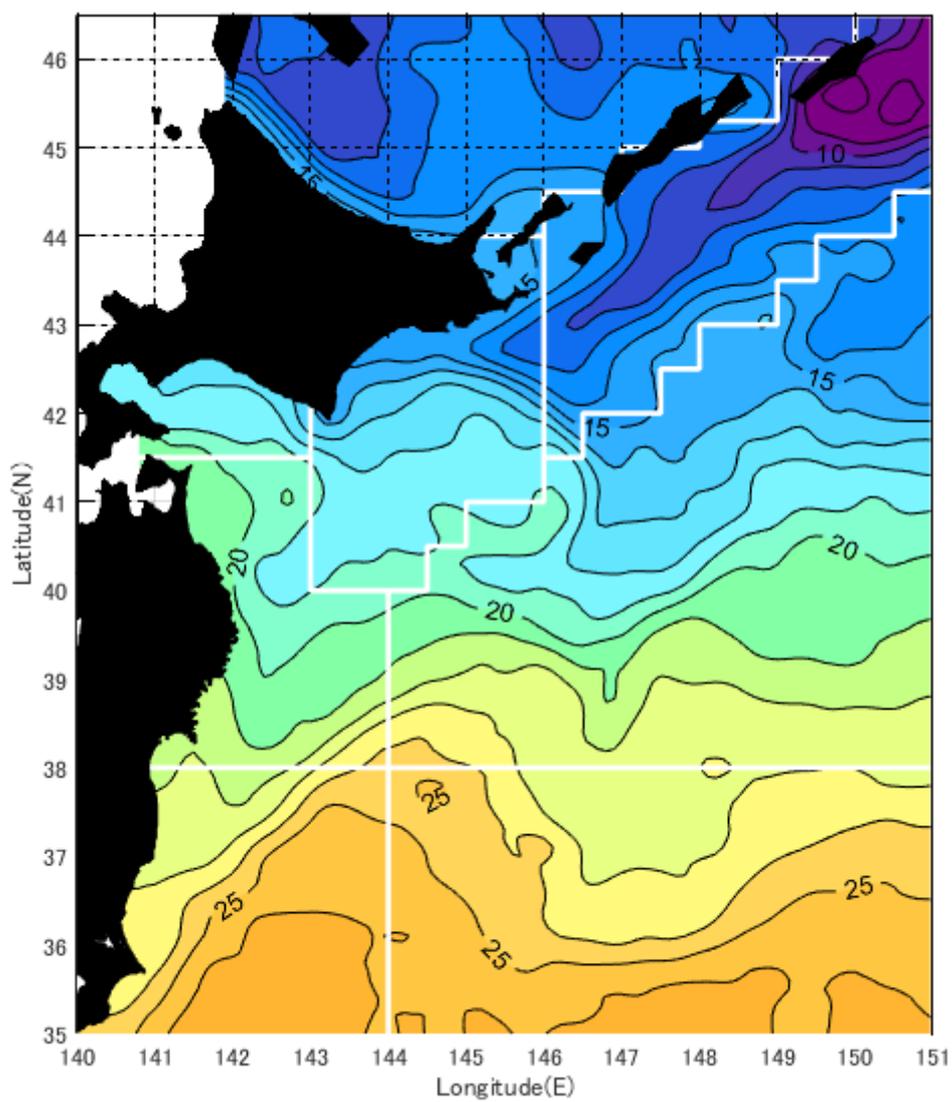
落石東北東520~600海里的漁場水温13~17℃では、大型船7~25隻程度操業し、大型船で最高78トン、平均25.5トン漁獲した。

##### (3) 魚体

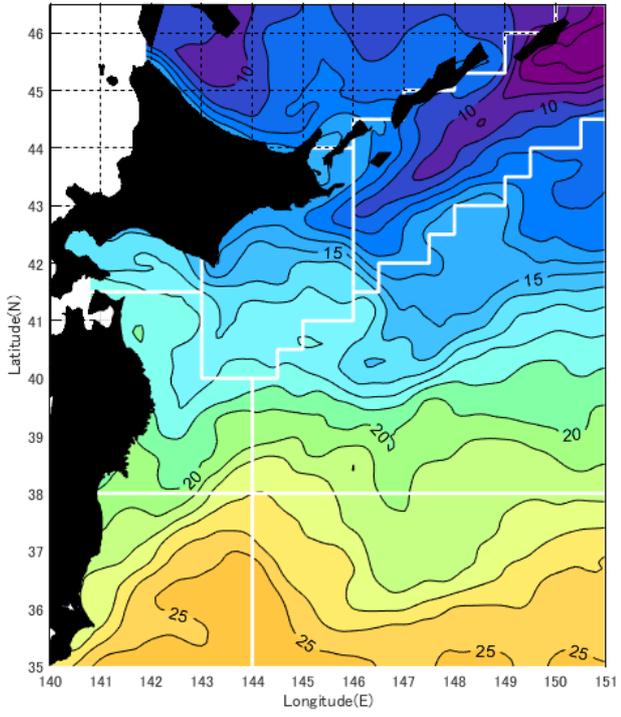
道東海域よりも東側では、体長26~30cmが主体、体重は80~120g台が主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

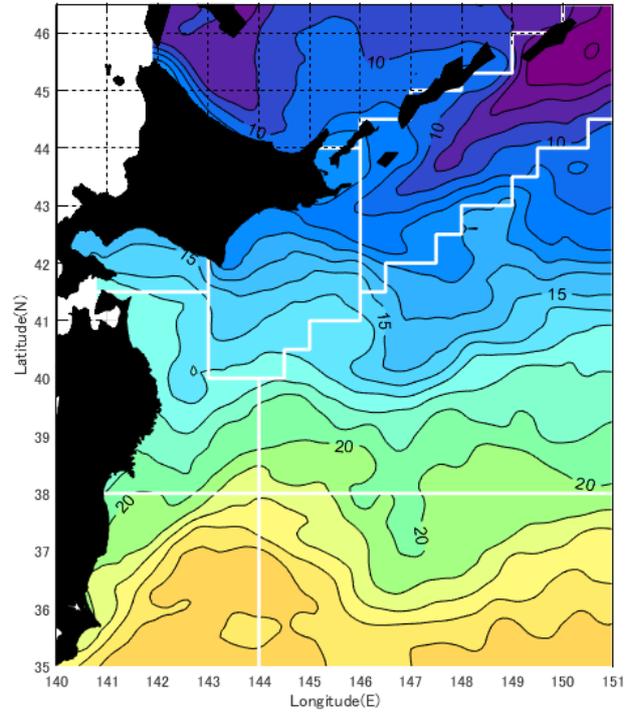
10月上旬予測表面水温分布図



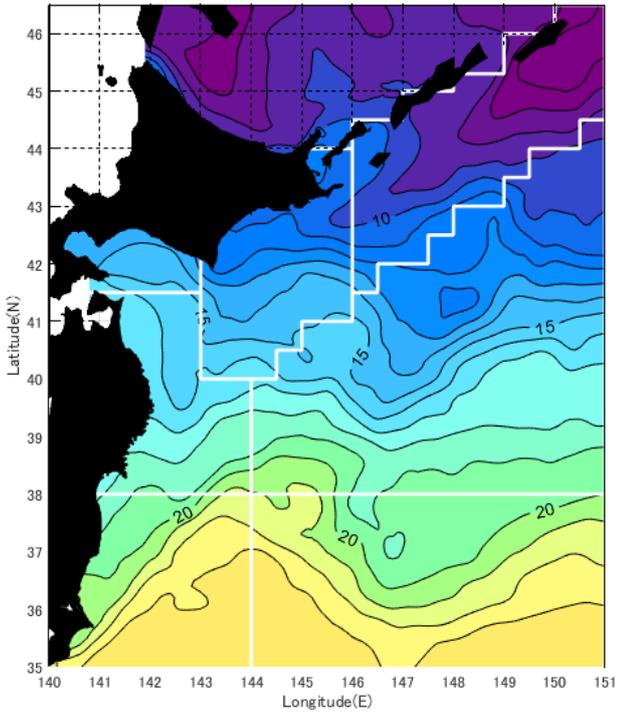
10月中旬予測表面水温分布図



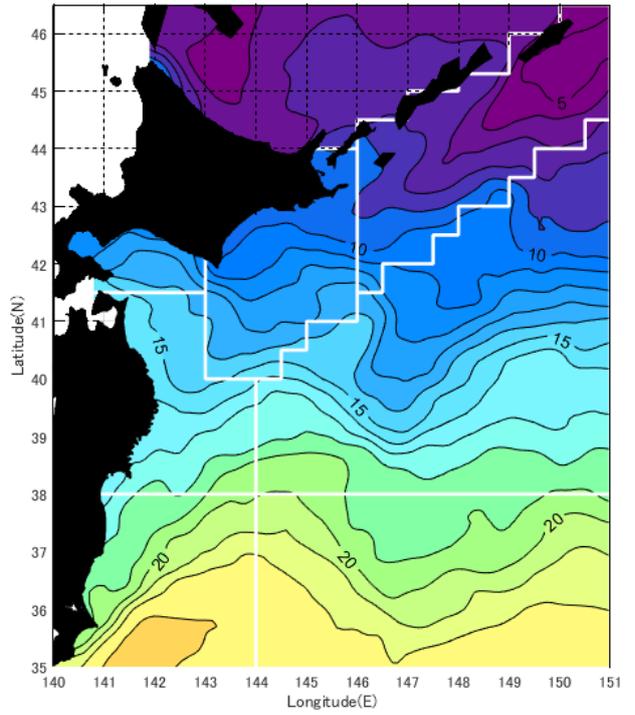
10月下旬予測表面水温分布図



11月上旬予測表面水温分布図



11月中旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---